

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 754 事業名 和歌山音楽大行進開催委託事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
事項		和歌山音楽大行進開催委託事業		

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
取組	1	市民主体の芸術・文化活動の促進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実	海を生かした観光シフトの充実	美味しい和歌山市イメージの充実	その他		
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	総合防災体制の充実	その他	その他	その他		
総合的な子育て環境の充実	その他	その他	その他	その他	その他		
その他	その他	その他	その他	その他	その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	吹奏楽の演奏を通して、音楽文化の向上を図り、文化的で明るいまちづくりに寄与する。	5月5日のこどもの日に、参加団体の吹奏楽による音楽大行進を実施する。和歌山音楽大行進の開催を委託する。 ・和歌山音楽大行進開催委託先 和歌山音楽大行進実行委員会 委員長 脇田 裕己 ・参加団体 保育所・小学校・中学校・高等学校吹奏楽部他				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		第37回 参加団体25団体 参加人数1,523名	第38回 参加団体31団体 参加人数2,255名	第39回 参加団体30団体 参加人数約2,338名	第40回 参加団体35団体 参加人数約2,000名	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700				
	伸び率 (%)	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	1,105	3,879	1,105	7,024	7,024	3,414	3,414			
		非常勤職員		0								
		小計	1,105	3,879	1,105	7,024	7,024	3,414	3,414			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700					
所要人数	常勤職員	0.14	0.51	0.14	0.92	0.92	0.45	0.45				
	非常勤職員		0									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	委員会の開催				年度目標値	2	2	2	2
					実績値	2	2	2	
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	参加者数				年度目標値	1500	1500	1500	2000
					実績値	1523	2255	2338	2000
	単位		全体目標値	全体目標達成度	125.9%	101.5%	150.3%	155.9%	
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	「子どもの日」を祝う事業として、市民の間ではすっかり定着しているシンボリック存在の事業である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	